

総合実習（2単位）

必修

2年海洋科・機関コース

授業の概要	（内容） 実習を通して、機械や工具の正しい取り扱い方法を身につけると同時に安全性についての認識を高める。又、実習による体験によって、それぞれの作業工程を習得する。		到達目標	・安全知識の徹底 正しい服装の着こなし、保護具の着用を徹底します。
	（形態） 実験・実習			・時間厳守 集団行動における素早い行動及び時間厳守。 ・機械、工具などの正しい使用方法を身につけます。 ・機械周辺の整理・整頓及び作業終了後の掃除を徹底します。
年間の授業計画	項目			内容
	一学期	4	1. ガス溶断、溶接	実習形態は2班編成とする。 ・ガス溶断による作品製作をします。 硬度、衝撃、引張試験、ディーゼル機関の運転 ・電気配線は「第二種電気工事士試験」を目標として、年間を通じて行います。
		5	材料試験、機関運転	
		6	2. 電気配線（1）	
		7		
	二学期	9	特別メニュー	・乗船実習の為、学校残留生徒による水高祭用の販売品の製作など。 ・器具と電線の接続法 ・文字と記号、線、投影図など。
10				
11		1. 電気配線（2）		
三学期	12	2. 製図（1）	・材料等選別、複線図 ・文字と記号、線、投影図など。	
	1	1. 電気配線（3）		
	2	2. 製図（2）		
3				
学習方法	・帽子・作業服・安全靴は、いつも整っているか点検しておく。 ・時間厳守です。時間に遅れないよう余裕をもって工場へ集合しよう。 ・機械を取り扱うには、いい加減な気持ちでは事故のもとです。その為には、いつも体調を整えて実習にのぞむことです。 ・整理・整頓を心がけよう！身の回りの整頓が出来てないと、よい作業は望めません。			
評価方法	ペーパーテスト	0%	平常点 100%	
			製作をした作品について、技能・表現で評価します。 出席状況（遅刻・欠席）で評価します。 作業のできる服装が（作業服・帽子・靴・ベルト）できているかで評価します。 製図の課題やインターンシップの出席状況も評価します。 授業への取り組みの態度、道具を大切に扱っているか等総合的に評価します。	
教材	教科書 『船用機関1』（文部科学省） 『電気工学』（文部科学省） 『機械設計工作』（文部科学省）		アドバイス	何よりも、まずは休まないことです。そして、事前の心がまえとして、作業着等の準備を忘れないで下さい。 工場内では、常に気を抜かないで安全面に注意してください。